

「アゼルバイジャン投資ホールディング」の設立

昨年新たに設立された主要国営企業の持株会社である「アゼルバイジャン投資ホールディング」(Azerbaijan Investment Holding:以下 AIH)が今年から活動を開始し、1月12日に監査委員会会合を初開催しました。同社は、国営企業の活動・財政の管理を目的としています。

当国ではGDP全体の約半数を国営企業が占め、主要企業はインフラ産業(石油・ガス採掘、電力、水道、運輸及び通信等)に集中しています。独立後30年が経ちましたが、主要国営企業の多くは関連省庁或いは大統領の管理下にあります。

政府は従来から主要国営企業の赤字を国庫によって毎年補填するなどして財政支援を続けてきましたが、昨年3月以降の石油国際価格の暴落に伴い国家財政が逼迫したことを受け、大統領が国営企業の経営(財政)問題の改善の必要性を改めて指摘し、大統領令によって AIH が設立されました。

1 AIH の役割・目的

(1)役割:国の持続可能な経済発展を目的とした国が資産を保有する国有企業の活動・財政の管理。

(2)目的:国営企業の競争力向上及び経営の改善、投資の透明性確保及び経済効率性向上、財政の健全性及び持続可能性の確保。

2 AIH の活動

昨年11月5日付の大統領令によって規定された同社の活動の概要は以下のとおり。

(1)政府が資産を有する主要国営企業(下記3.に記載)を同社の管理下に置く。

(2)同社の管理・運営費は国庫によって賄われる。同機関の予算は設立後3年間は国家予算から充当される。国営企業は自社の純利益の20%を同社に納める。

(3)国営企業はコーポレートガバナンス体制の強化及びマネージメント改善に係る提案書を同社に提出する。

(4)首相が議長を務める監査委員会会合(首相の他、大統領補佐官、経済相及び財務相が委員を担当)を毎月開催する。

3 国営企業リスト

同大統領令に従い、AIHの傘下に置かれた国営企業は以下のとおり。

- ① SOCAR(石油ガス採掘)
- ② 「アゼルバイジャン航空」(運輸)
- ③ 「アゼルバイジャン鉄道」(運輸)
- ④ 「アゼルバイジャン海洋船舶」(運輸)
- ⑤ 「バクー地下鉄」(交通)
- ⑥ 「アゼルゴールド」(金採掘)
- ⑦ 「アゼルエナジー」(電力)
- ⑧ 「アゼルス」(水道)
- ⑨ 「アゼリング」(配電)

- ⑩ 「アゼルバイジャン改良・水資源」(農業)
- ⑪ 「アゼルコスモス」(通信)
- ⑫ 「アゼルバイジャン国際銀行」(金融)
- ⑬ 「アゼル・トゥルク銀行」(金融)
- ⑭ 「アゼル熱供給」(熱)
- ⑮ 「クリーン・シティ」(ごみ処理)
- ⑯ 運輸通信ハイテク省傘下の国営企業
 - 「バクー国際商業海洋港」(運輸)
 - 「アズテレコム」(通信)
 - 「アズポーチタ」(郵便)
 - 「Azln テレコム」(通信)
 - 「バクー電話通信」(通信)
- ⑰ 「国営保険会社」(保険)

(以上)